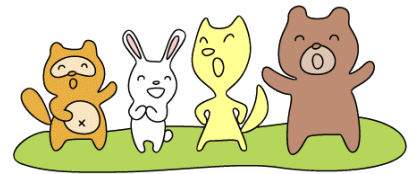


子育て支援隊ニュース

～笑顔あふれる子どもが見たい～



射水市では、市民みなで子どもの健やかな成長を支援していくために、子育て支援隊を結成しています。あなたの力を子育て支援に生かしてみませんか？

子育て支援隊とは？

子育てに関する豊富な知識や子どもの創造性を培う趣味、特技を持つ個人、団体を子育て支援隊として登録し、保育園や幼稚園、小学校などの子どもに関する施設や子育てサークルなどで、子どもたちとのふれあいを通じてその成長に寄与するものです。市は、施設・団体からの依頼に応じて子育て支援隊を紹介します。

支援隊にはこんな方(団体)が登録されています。

- 子どもの創造性を培う趣味、特技のある方（絵本の読み聞かせ、歌、おどり、折り紙、工作など）
- 子育てに関する知識が豊富な方（育児の豆知識や離乳食や幼児食のレシピなど）



どんなふうに活動しているの？

ここでは、いくつかの団体・個人の方の活動を紹介します。

射水市ホームページでも紹介しています。（各課のページで、「子育て支援児童福祉係」へお進みください。）



団体名「ライラック・リーディング」

代表者名 岩井 順子

会員数 6名

活動内容 読み語り・手遊びなど



コロナ対策の為、会員は手指消毒・手洗い・健康チェック・マスク着用により、各自体調を管理している。家族も同様である。

コロナ禍の中、小学校や図書館・児童室の支援希望数は少なくなったが、子ども達の元気な声を聴きたいと声がかげれば出かけ

る。新製児童室のクリスマス会では、子ども達は笑顔で歌に合わせて手作りマラカス（アルコール消毒済）を振ってくれた。子育て支援にかかわれることは最高に幸せである。

そして、会員メンバーは絵本が大好きな皆さんだ。「できることをやろうと思って参加した。」と言って下さり、本当にありがたいと思っている。これからもコロナに負けないで一緒に楽しみましょう。



団体名「奈古っ子グループ」

代表者名 佐賀 あさ子

会員数 8名

活動内容 レクリエーション



私たちは42年間、子ども達とレクリエーションを通して触れ合ってきたグループです。コロナ禍のため、昨年はほとんどの行事は中止となりましたが、12月にこどもみらい館より

『わくわくステージ』の出演依頼がありました。密にならないようにするにはどうしたら良いか話し合った結果、朗読劇に挑戦することに決めました。初めての経験なのでいろいろ模索しながら練習に取り掛かりました。そして、本番当日の朝は、思いもよらない雪が降り、『かさじょう』にピタッ！ステージが広く大きな動きができ、大きな拍手をもらった時には、会員の顔は笑顔に変わりました。ピンチをチャンスに変えられたひと時でもありました。「子ども達ありがとう」

団体名 「かいばみ文庫」

代表者名 貝喰 治子

会員数 47名

活動内容 おはなし・絵本の読み聞かせ・本の貸し出し



昨年はコロナ禍の中で、これまでの当たり前が、次々と当たり前でなくなっていきました。自粛の始まりが子どもの教育現場ということをととても残念に思いせめて家庭文庫は・・・と隔週火・土曜日の文庫は開きました。

文庫の大きな行事、夏の西瓜パーティー、秋のおはなし会と文庫15周年のおもちの会そしてクリスマス会を開くことができました。消毒液を用意し、窓を開けて万全の態勢で子ども達を待ちました。様々な事情で不安を抱えながらも文庫に来てくださった方達に感謝の気持ちでいっぱいです。文庫を開くことで何よりも私自身が救われました。まだまだ終息しそうにないコロナですが、文庫に子ども達が戻ってきて、あたり前に人と出会い、本と出会える日が来ますように心から願っています。

団体名「おもちゃ病院」射水

代表者名 熊谷 順一

会員数 7名

活動内容 こわれたおもちゃの修理

さあ、あなたも子育て支援隊に登録して活動してみませんか？
子どもたちがあなたの力を待っています。 □□

令和2年は新型コロナウイルス感染拡大で大変な1年でした。マスクの品不足、学校の休み、慣れない在宅勤務によるテレワークが有り、私たちおもちゃ病院も年配者が多いため4月から8月までの5か月間感染防止をはかるため、おもちゃ病院の診療は中止致しました。9月からは診療を再開し、大島絵本館での診療では、NHK 富山放送局のニュース番組の取材があり、その時は、スタッフ3名でアクリル板、アルコール等を準備して診療を行いました。9月から12月までの診療は、4回実施し、おもちゃの修理件数は59件と割合多くありました。令和3年に入ってから感染者が増えており、おもちゃ病院の診療は見合わせ、マスクの着用、手洗い、不要不急の外出を控え、人との接触を少なくして様子を見ているところです。



団体名「富山福祉短期大学ボランティアセンター」

代表者名 藤井 徳子

会員数 学生ボランティアコーディネーター19名

活動内容 手遊び・人形劇・紙芝居など



学生ボランティアコーディネーター（通称ボラコ）が主体となり『一期一会』のコンセプトをもとに活動しています。本年度はコロナ禍の影響で対外的な活動の企画が難しい状況ですが、本年度の教訓を活かし次年度からはコロナ禍でも可能な子育て支援の企画や活動を地域と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。



施設・団体の方へ

『支援隊の方に協力してほしいんだけど、連絡先がわからない・・・』 そんなときは、市役所子育て支援課児童福祉係（☎51-6629）までご連絡ください。